

平成16年度

# 町政執行方針



池部町長は、平成16年度の町政を推進するにあたり、  
3月11日から開かれた第1回町議会定例会で町政執行方針を説明し、  
町政執行に関する所信と基本姿勢、並びに平成16年度各会計予算の概要について述べました。  
その中で町長は、「町民参加のまちづくり」と「行動する行政」を基本姿勢として、  
第4次総合計画の実現に向けた町政推進の決意を述べ、  
市町村合併への対応と行財政改革の断行について、  
町民皆様のご理解とご協力を呼び掛けました。  
以下、町政執行方針の内容をお知らせいたします。

第4次総合計画「まほらの南富良野」の実現  
行財政改革を断行... 補助金や公共料金のあり方  
市町村合併への対応

# はじめに

**平** 成16年第1回南富良野町議会定例会にご提案いたしました、一般会計並びに7特別会計予算案のご審議をお願いするにあたり、提案の趣旨および概要のご理解を賜り、ご協力をお願いいたします。予算編成の基本的な考え方とその大綱についてご説明を申し上げます。

私は平成12年に町民皆様の温かいご支援をいただき、21世紀スタートの我がまち「南富良野町」の舵取り役として重責を担うことになりました。早1期4年が過ぎようとしており、この4月29日をもって、おまじで与えられました任期が満了することになりました。この間、多くの町民皆様からご意見やご指導をいただき、中々、我が町の発展と町民福祉の向上を願い、郷土南富良野町「建設のため共に歩んでまいること」ができました。これは、私にとりまして、この上ない光栄であり、町民皆様のご支援と議員各位のご協力を賜

りましたことに対し、心から厚くお礼を申し上げます。

私は、町長就任以来、町民参加のまちづくり」と行動する行政」を基本姿勢として、21世紀に対応するまちづくりを目指し、町第3次総合計画「豊かな自然とほほえみにあえるまち」、更に昨年度からスタートしました第4次総合計画「まほらの南富良野」の計画実現に向けて誠心誠意の努力を傾注してまいりました。

そして、町政を取り巻く環境については、国の財政赤字の累積が中長期的に経済成長の阻害要因となっており、財政の硬化化や世代間の不公平の拡大をもたらす、活力ある経済社会の実現に大きな足かせとなっており、国と地方は公経済を支える車の両輪ですが、ともに極めて厳しい財政状況の下、諸種の制約を受けながらも、可能な限り最善の努力をいたしてまいりました。

**そ** の結果、馬鈴薯集出荷貯蔵施設への助成、民

町民の皆様へ情報をお知らせしながら、2町村のあるべき姿を探り、我が町の将来に悔いが残らないよう一層の努力をしてまいらなければならぬと考えております。

**と** きに我が町も、まちづくりの歴史がはじまって、114年を迎えました。先人の英知と決断により、素晴らしい郷土を築いていただき、その努力に対し心から敬意と感謝の誠を捧げるものであります。

この100年を超える貴重な歴史の中にあつて、私たちはこれまでに予測しえなかつた時代の転換期を迎えていると言われている。

国際的にも国内においても混沌とした将来を予見できない状況の中で、政治、経済、社会いずれも不安であり多くの課題に直面しております。

21世紀にふさわしい国の体制を整備すべく国主導の中央集権から地域住民主体による分権社会の創造への第一歩となる地方分権一括法が施行されて4年が経過しましたが、国の財政危機等を背景に、地方分権型社会における自治体

有林の地域活動支援、町民いこいの森の整備、また、中小企業経営安定特別資金貸付制度、商工業振興起業促進事業の推進、更に鉱業振興上からの町道幾寅鹿越線など産業基盤の整備と商工業振興および観光の振興、高齢者生活福祉センターの建設、地域交流センターの施設、設備整備のほか、知的障害者自立訓練棟およびグループホームへの助成、児童クラブ室、地域子育て支援センターなど社会福祉、医療の充実と施設、設備の整備並びに、高齢者対応公営住宅および一般廃棄物最終処分場の建設、落合地区簡易水道、住宅上下水道、道路、消防など生活環境整備について、町政執行の任をいただく中で、多くの困難な課題が山積してまいりましたが、各般にわたり町政の推進を図ることができ、しかも、町政推進の基本であり、健全財政の運営に配慮しつつ、無事その任を果たし、今日を迎えることができました。これは、町民皆様のご支援とご理解、更に、議員各位並びに関係機関のご協力をいただいた賜物であり、また、職員一人



地域懇談会(3月9日、落合地区)

の基本姿勢をも揺るがしかねない状況にあり、特に北海道のような面積が広大で、人口1万人未満の町村が約7割を占める地域性への課題も多くある中で、合併困難な小規模町村の権限の一部を道などに移管する措置が取られようとしております。

この構造改革の流れは都市と農山村との構図を変え、大きな痛みを小規模町村が、まともにかぶるといふ大変な現象を生み出し、特に農山村の小規模自治体は存亡の危機に立っているといつても過言ではありません。

**し** かし、今日まで地方の農山村は戦後日本の経

ひとりのためめ努力によって何とか克服することができましたことに対し、心から感

## 町政の基本姿勢

**そ** て我が国の経済は、大手企業、製造業などの輸出と設備投資に着実な回復が見られると言われておりますが、デフレ不況の長期化によつて依然として景気の低迷が続いており、就職難、更には失業率の上昇していることに

加え、公共事業の削減が既定路線となりつつある現状では、公共事業に依存する割合が高い地方においては、特に雇用不安が高まっており、地域経済も活力を失った状況にある中で、長引く経済不況による個人消費の低迷、購買力の流出、金融不安など地元商店、中小企業等の経営環境も依然として厳しいものとなっております。

また、地方自治体を取り巻く環境は、特に国の厳しい財政状況を背景に聖域なき構造改革を断行する方針を基本に、

経済発展を支え国土の均衡ある発展の大きな推進力となり、また、特色ある歴史や農山村の文化を形成してきており、我が町も国土発展の一翼を担ってきたのであります。

未開の原野を拓き、世代を受け継いで心血を注ぎ地道な努力を重ねながら、沃野を創造してきたこの地に生きる住民の営みはかけがえのない財産でもあります。

農産物価格の低迷や不況の影響を受け、自主財源である町税収入もその伸びは全く望めない状況にあり、特に地方交付税の削減により本町の行財政運営は大変厳しい環境におかれておりますが、先人が築き上げた自然豊かな郷土「南富良野」を守るため町民と共に痛みを分かち合いながら、工夫を凝らし悔いのない町政運営をしていかなければならないと改めて気を引き締め、自治意識を高める中で自己決定と自己責任の気概を持ち、

第4次総合計画の、まほらの南富良野「瑞々しい自然、誇れる大地、人のびのび、みなみふらの」を基調として、その実現に向け町議会の論議を踏

謝を申し上げる次第でありませぬ。

都市再生や科学技術などを重視した予算の重点配分を行う一方、地方の自主性、自立性と住民との協働によつて、地域の活性化を推進する名のもとに様々な財政支援や優遇措置を手段として市町村合併が半ば強制的に推進されようとしており、地方交付税や国庫負担金補助金の削減など、三位一体改革は、市町村財政を直撃し、行財政運営に深刻な影響を落としております。

**こ** のような状況の中で、今、市町村合併への論議が急速に高まってきており、道内では、現行の合併特例法期限を前に法定協議会および任意協議会を合わせて平成16年2月末現在で37地域121市町村が、協議会を設置して合併論議を行っております。

本町におきましても平成15年12月に占冠村との「任意合併

まえ町民の参画と協働による開かれた町政執行に郷土愛と情熱をもって住民福祉の向上のため最大の努力を傾けてまいります。

**以** 上、町行政を取り巻く諸情勢と私の所感の一端を申し述べさせていただきましたが、先にも申し上げましたとおり、本年度は町長改選期であります。

しかしながら、行政の中断は1日たりともゆるがせにすることは許されることではありません。

この度の町民皆様の厳粛な審判を仰ぐという意義あるときにあたり、行政運営の基本となる最小限必要な経費を中心とした骨格予算案の編成を本旨とし、更に町内における諸事情を考慮しながら、私は次の考えに立ち、本年度の予算編成にあつた次第であります。

まず、歳入予算についてであります。主財源となる地方交付税は、普通交付税の基準財政需要額算定のための補正係数や単位費用の見直し、更に小規模町村に影響を及ぼす段階補正の見直しや臨時財



任意合併協議会(3月5日、総合福祉センター)



政対策債への振替の見直しなどによる削減のほか、特別交付税の減を含め前年度比10.2%の大幅な減額を見込み計上いたしました。

また、町税については、農業所得の落ち込みや、経済不況、固定資産税の評価替えなどにより減少となっているところから、使用料、財産収入などの自主財源の確保に努めたほか、地方譲与税のうち国庫負担金・補助金を一般財源化する三位一体改革の暫定措置とされる所得譲与税を計上したほか、配当割交付金および株式等譲渡所得割交付金についても、新たに計上したところでもあります。

町債については、普通交付税の制度改正での臨時財政対策債を計上し、また事業による借り入れは交付税など財源措置のあるものに配慮し、国や道の補助制度の活用を見込んだほか、骨格予算を基本としながら、事業内容によっては当初に計上したことにより積立金のうち普通財産基金、公共施設等整備基金のほか、減債基金を取り崩し財源の確保を図ったところであります。

## 歳

出予算については、地方交付税の大幅削減と国庫負担金・補助金の一般財源化による振替などによって、小規模町村の財政に与える影響は極めて大きく、基金の取り崩しによって財政を維持しておりますが、このまま交付税の削減が続けば一層厳しい状況にあるところから、一般財源が主体となっている経常経費の削減を重要な位置づけとして、今後10力年間の財政運営を推計する中で、行財政改革を推し進め、事務事業の再見直しを断行しなければなりません。

このよつな中で本年度においては、特別職一般職給与並びに議員報酬など人件費の削減をはじめ、物件費、委託料、更に、町民皆様にも痛みを伴

う補助金の減額と公共料金の改正を行い、より一層事務経費の削減に努めるとともに、公債費維持補修費など行政運営の基本となる経常経費を中心とした予算計上を念頭に置き、従前から継続的に計上してまいりました各種団体の運営に要する負担金及び補助金、すでに採択されている国や道の補助事業、更に継続的に取り組んできている事業で、事務手続に配慮しながら緊急度の高いものを勘案しつつ、均衡ある予算編成に努めた次第であります。

何とぞ、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。以下、本年度の町政執行について、施策の主な概要を申し上げます。

# 重点施策の基本的な考え

## (1) 農業の振興

第1は、農業の振興であります。農業を取り巻く環境は、食の安全と安心の確保、担い

手対策、農地をめぐる農業構造問題および米改革の対応、さらにはWTO(世界貿易機関)の農業交渉が進まない中、FTA(自由貿易協定)2国間



人参の収穫作業(北落合地区)

協定への動きが強まるなど、国内外ともに諸問題が山積しており、一層の取り組みの強化が望まれております。

このよつな状況の中、BSE問題、鳥インフルエンザや食品表示の偽装、無登録農薬の使用問題など、食の信頼を揺るがす事件が発生し、農畜産物に対する消費者の不安解消のため、食の安全性への取り組みが急務となっております。

環境と調和した農業を推進するために、昨年度より、ふらの農協が取り組んでおります作物別栽培基準を基本に、生産履歴などを開示するECO(エコ)フードの産地づくりに

国の構造改革は、地方交付税や補助金などの削減、市町村合併などを強力に推し進め、特に、自主財源の少ない小規模市町村は、今まで以上に抜本的な行財政改革が待ったなしの状況となっております。

本町では、これまででも行政改革大綱に基づき、庁内に行政改革推進本部を設置してその推進を図ってまいりましたが、予想をはるかに超える割合で進む地方交付税の削減は、行財政運営の徹底した見直しが必要とされることから、

「行政調整室」を新設するとともに、議会においても、行財政改革等検討特別委員会」の設置をいただき、種々協議を重ねてきたところであり、

本年度においては、特別職と職員、議会議員、各種委員など人件費を削減するとともに、旅費の見直し、各種団体などへの報償費や補助金の見直し、公民館と体育施設や観光施設など管理委託料の見直しを実施して、歳出全般にわたる改革を進めてまいります。

また、現在占冠村との任意合併協議会」を設置し協議を

ついて、実践強化をさらに進めていただき、食の安全と安心な農畜産物の提供に努めていただけるよう、関係機関と充分連携を図ってまいります。平成16年度からスタートする新たな米政策改革による地域水田農業は、生産調整の限界感、将来の水田農業を担う、担い手不足など、地域自らが考え目指すべき姿である「地域水田農業ビジョン」をつくり上げ、生産者とふらの農協、更に行政など関係機関が一体となり、需要に応じた地域の特色ある作物づくりや担い手の明確化と育成、生産調整や豊作時の過剰米処理の推進に取り組んでいかなければなりません。

特に、従来からの水田農業経営確立対策が産地づくり対策に制度が改められ、稲作所得基盤確保対策、担い手経営安定対策・集荷円滑化対策など、水田農業の構造改革が進められることとなりますので、「地域水田農業ビジョン」に沿った、米政策改革に取り組んでまいります。

また、農業関係の諸問題が渦巻く困難な環境を生き抜く

進めておりますが、今後、法定協議会」への取り組みが想定されますので、協議会事務局体制の充実を図ってまいります。

一方、自主財源の確保と安定的な事業運営を図るため、本年4月から公民館と体育施設や観光施設などの使用料および下水道料金並びに斎場を含む関連使用料の改正を行うとともに、粗大ゴミについては6月から有料化を実施してまいります。

## (6) 医療体制の整備

第6は、医療体制の整備であります。医療体制については、町内医師の献身的なご協力により、地域医療に取り組んでいるところでありますが、金山・落合診療所は、昨年9月末日をもって医師が退任され、両診療所の休診を余儀なくされておりましたが、後任の医師も決まり、本年4月より両診療所の診療業務を開始してまいります。落合診療所トイレ水洗化のための改修工事を進めるほか、幾寅診療所の医療機器を整備し診療所の充実を図ってまいります。



列状複層林(北落合地区)

第2は、林業の振興であります。森林は、国土の保全・水資源のかん養・生活環境の保全・森林の文化的利用機能など、人々の生活の安定、向上に役立つ様々な機能を有してお

## (2) 林業の振興

このよつな中、21世紀は環境の世紀と言われ、人々の環境への関心が高まっており、すが環境に対する森林が果たす役割は大きく、本町につきましては総面積の約90%を占める広大な森林面積を有しておりますことから、町有林の適正な管理と民有林振興の推進を図るため、国道・関係機関団体が共に連携を図り多面的機能に配慮する森林として、列状複層林事業や広葉樹林改良事業を推進し、更に森林整備地域活動支援交付金事業を昨年度に引き続き対象森林面積を拡大して取り組んでまいります。

## (3) 商工業の振興

第3は、商工業の振興であります。町内の商工業を取り巻く環境は、経済不況の長期

## (4) 鉱業の振興

第4は、鉱業の振興であります。鉱業については、近年、輸送車両の大型化で町道幾寅

鹿越線は鉱業振興上からも重要な路線であり、緊急の課題として路盤整備を平成14年度から進めておりますので、本年度も本路線の整備を進めるほか、一部擁壁改修工事も併せて実施してまいります。

## (5) 行財政改革の推進

第5は、行財政改革の推進と公共料金の改正であります。